

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
電子カルテ II Electronic Health Record II		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	(電子カルテ・DPC検定受験者必須)	ICDコーディング I・II・電子カルテ I の履修者のみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
医学一般の科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ICDコーディング I・II 電子カルテ I 医療秘書				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
古川貴子 菊池優子		本館2階	授業中に指示	授業中に指示します
授業の概要				
医療業界は日進月歩であり、臨床も複雑化している。その中で病院業務もIT化により多様な医療事務の知識や実務が求められている。演習問題を中心に、現場で求められている医事課の仕事を理解し、日々変化する現場状況を踏まえながら学習を図る。				
授業の目標				
①ICDとDPCの関係を説明できるようにする。 ②DPC算定ができるようにする。 ③初級がん登録について説明できるようにする。 ④DPC学内認定に合格できるようにする。				
授業の方法				
補足資料を配布、少しでも多くの演習問題を解くことにより、DPC算定の計算方法を理解する。ピアインストラクションにより初級がん登録の基礎学習を図る。				
学習の成果（学習成果）				
①ICDとDPCの関係を比較・分析することができる。 ②DPC算定、初級がん登録業務の特徴を説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明			古川
第2回目	電子カルテとDPC			古川
第3回目	レセコンとDPC操作			古川
第4回目	DPCとICDコーディングの繋がり			古川
第5回目	DPC対象病院・対象疾患 ※（レポート 1）			古川
第6回目	電子カルテ 症例1 内科			古川
第7回目	電子カルテ 症例2 外科			古川
第8回目	電子カルテ 症例3 整形外科			古川
第9回目	電子カルテ 症例4 耳鼻咽喉科			古川
第10回目	電子カルテからDPCへの移行			古川
第11回目	主要診断群（MDC）・請求パターン			古川
第12回目	厚生労働省病院調査について（DPC対象病院）			菊池

第13回目	厚生労働省病院調査について（D P C 準備病院）	菊池
第14回目	包括評価部分の算定 パターン （内科・診療所）	菊池
第15回目	包括評価部分の算定 パターン 1 （内科・一般病院）	菊池
第16回目	包括評価部分の算定 パターン 2 （内科・特定機能病院）	菊池
第17回目	包括評価部分の算定 パターン 3 （外科・診療所）	菊池
第18回目	包括評価部分の算定 パターン 4 （外科・一般病院）	菊池
第19回目	包括評価部分の算定 パターン 5 （外科・特定機能病院） ※（小テスト ①）	菊池
第20回目	D P C 請求NAV I による実践症例演習 I （1～2）（耳鼻咽喉）	菊池
第21回目	D P C 請求NAV I による実践症例演習 I （1～2）（血液内科）	菊池
第22回目	D P C 請求NAV I による実践症例演習 II （3～4）（整形外科）	菊池
第23回目	D P C 請求NAV I による実践症例演習 III （5～6）（眼科）	菊池
第24回目	D P C 請求NAV I による実践症例演習 IV （7～8）（内分泌循環器内科）	菊池
第25回目	D P C 請求NAV I による実践症例演習 V （9～10）（乳腺外科）	菊池
第26回目	D P C 請求NAV I による実践症例演習 VI （11～12）（小児外科） ※（小テスト ②）	菊池
第27回目	院内がん登録について	古川
第28回目	地域がん登録について ※（レポート ②）	古川
第29回目	臓器がん登録および活用法	古川
第30回目	D P C まとめ	古川
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	分からないところがあれば積極的に質問している。
レポート	40%	宿題等で提出を求めた課題の内容と提出率で評価する。
調査報告書		
小テスト	20%	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
試験	20%	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
D P C ワークブック、ICDコーディング基礎・応用、D P C の理解と演習		
履修上の留意点・ルール		
●実務経験（古川 職種：病院総合職・医療事務 職歴：通算6年、菊池 職種：病院コンサルタント 職歴：15年） 授業を集中し、D P C 請求をよく理解する。P C 操作で分からないところは必ず質問すること。学内D P C 検定を受験する場合は必ず履修すること。		